

薬剤部

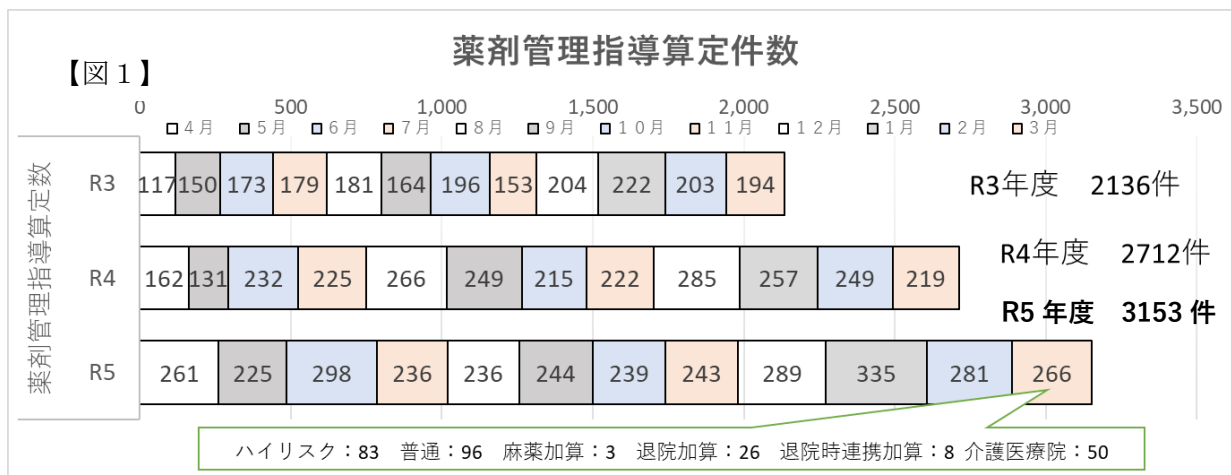
伊藤 陽一

令和5年度は、4月から薬剤師9名体制でスタートし、1月からは1名育休者が復帰し10名で業務にあたった。

薬剤管理指導の更なる充実、診療報酬未算定だった「がん連携充実加算」「バイオ後続品導入初期加算」の算定開始。後発医薬品への切替推進、小集団活動において、医療安全やフォーミュラ作成等に取り組んだ。主な業務実績は以下のとおりである。

1 薬剤管理指導業務

「入院患者全員にかかわろう」という目標で積極的に薬剤管理指導業務に取り組んだ。3169件/年（R4年度比116.9%、R3年度比148%）を達成。2年間で1000件以上増加することが出来た。【図1】 金額としてはR4年度8,949,900円→R5年度10,318,900円と136.9万円増加となった。

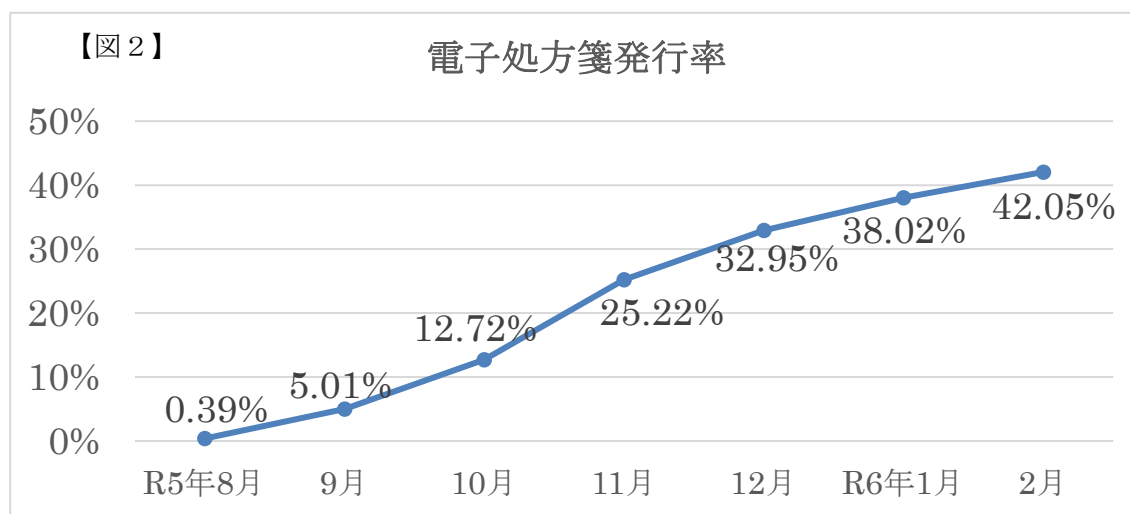


2 電子処方箋の運用導入

R4年10月28日電子処方箋導入WGのキックオフを開催し、年度明けの4月から本格的に準備を進め、7月12日に前運用開始 8月29日に本運用開始となった。薬剤部ではこの間、院内的には電子処方箋基本マスターの突合作業を進め、院外的に保険薬局との打合せを行い、電子処方箋対応についてのご理解ご協力をいただきながら対応薬局として処方箋応需をしていただけるように連携した。木曽郡内全ての薬局とデモ処方箋のテストを行いスムーズな導入が出来るように準備を進めた。

導入後の大きなトラブルはなく、電子処方箋発行率も順調に伸びてきており、令和6年2月の電子処方箋発行率は42.05%まで上昇している【図2】 HPKIカードを取得できていない派遣の医師も含めての数字であり、常勤医師のみでは70%を超えて

いる。



3 機能評価受審

令和5年度最大のイベントとして機能評価受審があった。薬剤部は部署訪問、ケアプロセス審査、医療チームへの参画を通して、病院機能評価の趣旨を理解し、全員参加で対応した。安全性を高めた注射薬照合システムを薬剤部及び病棟に配置している病院は数少なく、3.1.1の自己評価として「S評価」で申請したが、最終評価で「A評価」となってしまったのは残念だったが、準備から審査まで全員が協力して取り組み、医療の質を高めることと共に薬剤部内の協力体制が強化できたことを評価したい。

4 フォーマリナリ^①の作成及び運用

小集団活動の一つとして、フォーマリナリ^①チームで今年度2つのフォーマリナリ^①を作成し薬事委員会承認を受け、医師連絡会議にて最終承認を受けた。2つは①「慢性便秘症フォーマリナリ^①」②「睡眠薬フォーマリナリ^①」であり、睡眠薬フォーマリナリ^①に基づいて、病棟常備薬の見直しを行った。

転倒転落やせん妄対策としてベンゾジアゼピン系睡眠薬の使用量が大きく減少した事は評価できる。

5 医療安全に関する活動

小集団活動の一つとして、医療安全に関する研修会を各病棟に訪問してハイリスク薬をテーマに複数回開催した。また、インスリンの専用シリンジを使用しないアクシデントが全国で報告されている事から、研修会に合わせ「リマインダーカード」を作成し、インスリン専用シリンジの使用に関する注意喚起を強化した。

6 災害派遣に関する活動（DMAT 派遣）

R6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震に対し、県内 DMAT 派遣第 1 次隊として、1 月 2 日に木曽病院から薬剤師（リーダー）を含む 6 名の隊員が派遣された。能登総合病院（1/2）および珠洲市総合病院（1/3-4）で活動。1 月 4 日に県内 2 次隊に引き継ぎ、1 月 5 日 16 時に木曽病院へ無事帰還しました。自衛隊が先導しても通行できる道路がはっきりせず、移動に非常に苦労したとの事。クラウドファンディングで購入した DMAT カーが初めて災害派遣に使用されました。寄付していただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

7 病院経営貢献（診療報酬新規算定項目）

以下 2 項目の新規算定を開始した。

① がん連携充実加算（150 点）

病院と保険薬局が連携して、シームレスで安全な質の高いがん薬物療法を行う体制を構築している事に対する評価で、年 1 回以上の研修会の開催や、化学療法レジメンをホームページに掲載するなどの要件が必要。R6 年 2 月から算定を開始した。

② バイオ後続品導入初期加算（150 点）

分子標的治療薬の抗がん剤等バイオシミラー製品が多く発売され、切替を進めた。バイオ後続品の使用を推進するための報酬で、R5 年度は 2 月までの実績で 20 件算定した。

8 後発医薬品切替の推進

後発品切替の経営的効果は、DPC の後発品係数がなくなってから、切替率と共に購入削減額も目標にして取り組んだ。令和 4 年度は、削減額の大きい薬剤を中心に切替を進め、(図 4) の 20 品目を後発医薬品に切り替えた。

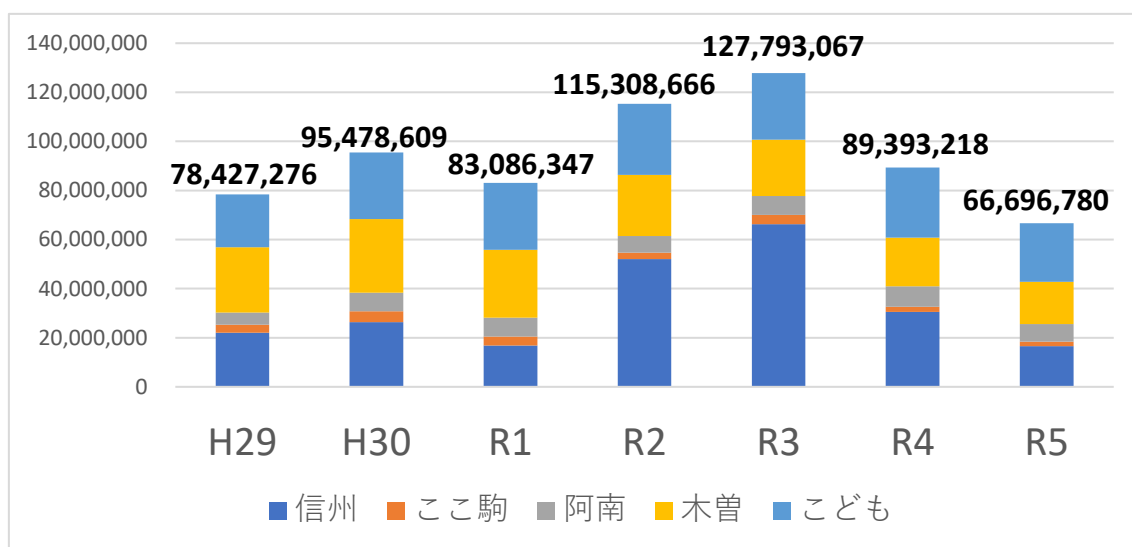
購入額の削減見込み額は 947.5 万円となった。

9 年度末在庫の縮減

購入費の削減（4 月の薬価改定後に安く購入）および 薬価改定に伴う在庫資産減少抑制 を目的に、県立 5 病院全体で年度末在庫の縮減に取り組んだ。機構全体として、127,793,067 円（R3 年度）→89,393,218 円（R4 年度）→66,696,780 円（R5 年度）と削減した。R4 年度に比較して 25%の削減 R3 年度に比較して 47.8%の削減となった。木曽病院としても直近 7 年間で最少の年度末在庫に絞り込むことが出来た。【図 3】

【図 3】 県立 5 病院 年度末在庫実績

	R3年度			R4年度			R5年度			
	年間購入額	年度末在庫	在庫月数	年間購入額	年度末在庫	在庫月数	年間購入額	年度末在庫	昨年度末比	在庫月数
信州	970,926,924	66,225,892	0.819	992,155,222	30,502,992	0.369	964,603,269	16,590,500	54.39%	0.206
ここ駒	56,519,803	3,787,224	0.804	54,210,184	2,090,615	0.463	56,895,682	1,866,003	89.26%	0.394
阿南	69,909,727	7,717,314	1.325	76,412,093	8,391,252	1.318	75,095,893	7,164,783	85.38%	1.145
木曽	379,156,916	22,929,116	0.726	343,323,364	19,752,461	0.690	328,116,077	17,189,513	87.02%	0.629
こども	479,673,470	27,133,521	0.679	423,007,107	28,655,898	0.813	726,021,971	23,885,981	83.35%	0.395
合計	1,956,186,840	127,793,067	0.784	1,889,107,970	89,393,218	0.568	2,150,732,892	66,696,780	74.61%	0.372



10 MR 訪問の完全アポイント制の導入

コロナ明けの MR 訪問の再開に合わせ、MR 訪問の完全アポイント制を実施した。すでに薬剤部と手術室で導入している MONITARO システムを利用し、薬剤部が MR と医師の仲介をする方式で開始した。

アポイント申請済 MR は薬剤部で入館許可証を受け取り医師との面談を行う方式で、システムで入館退館が記録され、セキュリティ対策としても有用である。

11 学会発表・勉強会講師・資格取得

【講師】

・令和 5 年 6 月 7 日（水） 長野県病院薬剤師会 北信・中信支部研修会

オンライン開催（木曽病院から配信）

「医薬品の適正使用に関して」

○伊藤陽一

- ・令和 5 年 7 月 24 日 長野県立病院機構医薬品購入担当者勉強会
 長野県立こども病院 看護会議室
 「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が順守すべきガイドラインについて」
 ○伊藤陽一
- ・令和 5 年 8 月 30 日 長野県内購買連携病院合同会議
 諏訪赤十字病院
 「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が順守すべきガイドラインについて」
 ○伊藤陽一
- ・令和 5 年 8 月 31 日（水） 第 76 回中信がん薬薬連携 Web 勉強会
 「保険薬局での気づきが、がん化学療法中のフォローに繋がった！」
 ○松原重征
- ・令和 5 年 10 月 14 日（土） 第 17 回長野県がん医療を考える薬剤師の会年会
 相澤病院ヤマサ大ホール
 「病院薬剤師からみたがん薬薬連携の変化と今後の課題」
 ○松原重征
- ・令和 5 年 10 月 27 日（金） 2023 年度第 2 回長野県病院薬剤師会講演会
 杏林製薬会議室より配信
 「注射用カリウム製剤の 事故防止に向けた薬剤部の取り組み ～木曽病院版カリウム製剤投与間違い撲滅キャンペーン～」
 ○上條梨紗
- ・令和 5 年 10 月 28 日（土） 令和 5 年度 長野県医療従事者シミュレーション教育指導者研究会 長野県立病院機構本部研修センター
 「木曽病院におけるシミュレーション教育への他職種参加に向けた調査」
 ○増田硬三、柳澤俊史、下島里佳
- ・令和 5 年 12 月 2 日（土） オンライン開催（木曽病院から配信）
 第 19 回県立病院等合同研究会
 「長野県立病院機構の未来に向けて 5 病院の薬剤部で取り組む協働アクションと成果」
 ○伊藤陽一、堀勝幸、五味和彦、田中健二、鈴木英二
 「木曽病院における電子処方箋の導入経験について」
 ○土岐健太、八巻ちひろ、増田硬三、松原重征、花岡哲也

【寄稿】

- ・ 令和 5 年 5 月 長野県病院薬剤師会ホームページ
「薬剤師を目指す方へ」
○関 彩香
- ・ 令和 5 年 8 月 長野県病院薬剤師会会報
「長野県病院薬剤師会総会特別講演Ⅱのレポート」
○関 彩香

【資格取得】

- ・ 令和 5 年 12 月 1 日 日本臨床栄養代謝学会「栄養サポートチーム専門療法士」
○関 彩香

以上